

■開催概要

令和2年2月に策定した「第2次五泉市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・総合戦略」の推進にあたり、各事業の評価・検証を行うことを目的として開催しました。

意見交換では、4つの基本目標と交付金活用事業ごとに、数値目標・重要業績評価指標（KPI）達成に向けた取り組みの方向性や今後の展開、施策・事業の改善点などについて、ご意見・ご提案をいただきました。

実施回	第1回
日時	令和4年7月11日（月）14時～15時40分
会場	五泉市総合会館 2階 第1会議室
参加委員	15名 （産学官金労言士の各分野計19名で構成）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●説明                     <ul style="list-style-type: none"> <li>（1）五泉市総合戦略について</li> <li>（2）総合戦略の検証方法について</li> </ul> </li> <li>●意見交換                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業での「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」</li> <li>○基本目標Ⅰ「未来世代を守り育てる」</li> <li>○基本目標Ⅱ「産業の活力を高める」</li> </ul> </li> </ul>

実施回	第2回
日時	令和4年7月19日（火）14時～16時00分
会場	五泉市総合会館 2階 第1会議室
参加委員	15名 （産学官金労言士の各分野計19名で構成）
内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>●意見交換                     <ul style="list-style-type: none"> <li>令和3年度事業での「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」</li> <li>○基本目標Ⅲ「五泉の魅力をつなげる」</li> <li>○基本目標Ⅳ「確かな暮らしを充たす」</li> <li>○交付金活用事業について「交流拠点複合施設管理運営事業」</li> </ul> </li> </ul>

■意見交換「各施策の方向性・取り組みについての意見・提案」

基本目標	意見
Ⅰ 未来世代を守り育てる	<p>【基本方針1】妊娠・出産・子育ての支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援制度においては、若者の考え方を取り入れ、持続的に取り組むことが必要。</li> <li>ファミリー子育て応援パスポート事業は子ども医療費助成同様、対象を高校生まですることは検討できないか。</li> <li>子育てをするにあたり、働きやすい労働環境は必要。働きやすい労働環境を整えている企業に対し助成等インセンティブがあってもよいのではないか。</li> </ul>
Ⅱ 産業の活力を高める	<p>【基本方針1】地場産業の振興・産業競争力の強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ニットは製造のみの形態から製造と販売を行う形態へ変わってきている。ブランディングには時間がかかり、人材も必要となるので、支援があるとよい。</li> <li>五泉市の里芋は、ブランドとして全国的に知られ、県内トップレベルの生産。そのブランド力を活かして、一層、知名度を上げる取組が必要。</li> <li>他の園芸作物と合わせた作付体系や他の品目導入なども、活性化に繋がるのではないか。</li> <li>若者に対する農業教育は重要。農業体験を通して就農意識がつけばよい。</li> <li>農業については五泉にも若い人達で先進的な経営をしている人がいる。意欲的な農業者を市が支援することで、就農者の呼び込みができる可能性があると考えられる。</li> <li>園芸作物の振興については全国的にみて非常によい成績だと思う。生分解性マルチの導入は作業の省力化、効率化につながりよい取り組みだと感じている。</li> <li>もみ殻等処理支援事業については、散布機購入への補助だけでなく、もみ殻の燻炭化処理にも支援を拡充する余地があるのではないか。</li> </ul> <p>【基本方針2】就業環境の創出</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地元企業への就業については、子ども達にいかにか五泉の魅力を伝えていけるか伝え方が重要である。</li> <li>就業者数自体が減っていく中で、小売業や製造業の雇用確保もある一方、医療、福祉の現場への就業者確保の視点もあってよいと思う。</li> <li>人口減少は顧客の減少にもつながる。企業側も雇用が難しい状況もあるのが事実だが、地元で就業したいと思えるようなまちづくりを行政中心となって考えていただきたい。</li> <li>企業説明会なども、子ども達が地元で魅力を感じ、興味を持つような工夫が必要。また、定年後の方々には貴重な戦力になってくれるので求めている業界とのマッチングがあったらよい。</li> <li>ごせん起業者応援事業を始め五泉で起業をする方について、市と連携を取りながら五泉に残っていただけるような進め方をお願いしたい。</li> <li>企業誘致は当初の支援は手厚いが、企業の拠点集約等の際に撤退されないよう、5年、10年のスパンで継続的な支援があってもよいと考える。</li> </ul>
Ⅲ 五泉の魅力をつなげる	<p>【基本方針1】地域の特性を活かした交流の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>廃校利活用については、廃校の維持費についても考えていかなければならない。コロナ禍の中であろうとなかろうと、使わないのであれば、この事業の継続についても検討が必要ではないか。</li> <li>五泉でも飲食での廃校利活用が出来るが良い。地場産品の提供もできるため、検討していただきたい。</li> <li>どこにターゲット絞るのかは検討だが、合宿に来てもらえるよう、アピールできる施設を整えるのも重要。また、宿泊施設も重要と考える。</li> </ul> <p>【基本方針2】地域の魅力を活かした移住の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウェルカムファミリー住まいる事業については、利用者に好評。事業の継続をお願いしたい。</li> <li>空き家については、物件の状態が悪く、マッチングまでいかないのが現状。今後も関係機関と協力していってほしい。</li> </ul>
Ⅳ 確かな暮らしを充たす	<p>【基本方針1】未来へつながる安全・安心なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自主防災組織率の向上も大切だが、土砂災害やの河川の氾濫の発生率が高そうなエリアを優先的に取り組むのも必要と考える。</li> <li>個人の避難計画、マイタイムラインについては、自主防災組織と併せて、例えば独居世帯や、老人のみの世帯、あるいは非常に危険なエリアに住んでいる世帯等優先的に作成していく必要があると考える。</li> <li>公共交通は、ふれあいバスと乗合タクシーで、他市町村よりも、完成された形になっていると思う。この後、東南環状線の開通も含め、まちの中の交通網の変化に合わせ、公共交通の路線の配置の仕方の変更が必要。便数を増やし、充実させても、必ずしも採算がとれるわけではないため、行政とどのようにやっていくか検討していく必要がある。</li> <li>五泉市は災害に強く、安全なイメージがある。引き続き防災に関して強化し、全国に発信できれば人を呼びこむことができるのではないか。</li> <li>災害については、雪への対応も重要。五泉市の除雪はしっかりやっているが、今後、民間の業者や人員の減少などにより、除雪の体制を維持していくのは大変ではないか。豪雪も災害として検討項目になると考える。長期的な計画として除雪の人員体制をどう確保していくのか検討されたい。</li> <li>五泉市は災害の起きる頻度は少ない地域だと思うので、安心できる地域だということをおアピールできれば、他地域より人が来るのではないか。また、今住んでいる子どもたちにも浸透できれば、市外へ出て戻ってきたり、地元に住み続けてくれるのではないか。</li> </ul>
交付金活用事業	<p>【交流拠点複合施設管理運営事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>五泉市の観光拠点として市外へのアピールも大事だが、地元の人に対してのアピールも重要。</li> <li>ネットでの情報発信は年配の人には難しいと思うので、PRの仕方をさらに充実していただきたい。</li> <li>施設の有効活用が必要。また、飲食は集客力が強いので、カフェにそこにしかないものが一つでもあるとよい。</li> <li>中庭の有効活用について検討されたい。</li> <li>情報発信拠点として、街中や商店街へ誘導する仕掛けができると良い。</li> <li>指定管理者の独自のイベントについては報道への情報提供を強化してほしい。</li> </ul>